

平成29年度 高P連育成員制安芸地区 第1回 運営委員会・連絡研修協議会
報 告 書

(事務局校) 高知県立室戸高等学校

日 時 平成29年6月26日(月) 13:30~16:30
会 場 高知県立室戸高等学校 第1会議室(運営委員会)、第2会議室(連絡研修協議会)
参加者 30名
参加校 安芸中高校、安芸桜ヶ丘高校、中芸高校、室戸高校

【 運営委員会 】 13:30~14:00 (第1会議室)

(参加者) 高P連会長・事務局長、安芸中高校PTA会長・学校長
安芸桜ヶ丘高校長、中芸高校長、室戸高校PTA会長・学校長(8名)

1. 開会行事

- (1) 運営委員長あいさつ(室戸高校PTA会長:寺内真也)
- (2) 高P連事務局あいさつ(高P連会長:川北恭弘)
- (3) 委員の紹介(自己紹介)
- (4) 議長選出(運営委員長)

2. 協 議

- (1) 平成28年度事業報告(前年度事務局校:安芸中高校)
- (2) 平成28年度事業報告および監査報告(監査報告:室戸高校総務部長)
- (3) 平成28年度事業計画および予算(室戸高校)
- (4) 連絡研修協議会の運営・取り組みについて
 - ア) 重点目標 今年度重点目標「挨拶・交通マナー・いじめ防止」
 - イ) 第2回開催予定日について
来年1月末~2月上旬で、各校、高P連事務局、講演の講師と調整し決定する。
 - ウ) 第2回連絡研修協議会での講演について
例年は、携帯電話関係の講演が多いが、企業の方から高校生に求めるものなどの内容で講演してもらうのはどうか。
最近、就職の際に企業側が受験者のSNS記録などを集めることがある。高校生がSNSにあげた写真から問題行動が発覚する、技術の進化により今までにない危険がある。などの意見があり、謝金のことを鑑み講師を決定していく。
- (5) その他

【 連絡研修協議会 】 14：30～16：30 （第2会議室）

（参加者）高P連会長・事務局長、各校学校長・PTA会長・総務部長・生徒部長、関係各機関（30名）

1. 開会行事

- (1) 運営委員長あいさつ（室戸高校PTA会長 寺内眞也）
- (2) 高P連事務局あいさつ（高P連会長 川北恭弘）
- (3) 高知県教育委員会あいさつ（生涯学習課 課長補佐 山岡彰彦）
- (4) 来賓・助言者紹介
- (5) 議長選出 室戸高校PTA会長 寺内眞也

2. 協 議

- (1) 平成28年度事業報告
安芸高校 資料P3の説明 （承認）
- (2) 平成28年度決算報告および監査報告
安芸高校 資料P4の説明
室戸高校 監査報告 （承認）
- (3) 平成29年度事業計画および予算
室戸高校 資料P6-P7の提案 （承認）
- (4) 運営委員会からの報告
運営事務局長（室戸高校）より
 - ・本年度の重点目標 「あいさつ、交通マナー、いじめ防止」
 - ・第2回育成員制安芸地区の会は、平成30年1月末から2月上旬の予定。
 - ・第2回での講演内容は、SNS関連の方向であるが希望があれば事務局まで。
- (5) 現状報告 （各校及び各関係機関より報告）
 - ① 高P連事務局
 - ② 高知県教育委員会 生涯学習課
 - ③ 人権教育課
 - ④ 室戸警察署
 - ⑤ 安芸市少年育成センター
 - ⑥ 中芸広域連合少年育成センター
 - ⑦ 室戸青少年補導センター
 - ⑧ 安芸中高校
 - ⑨ 安芸桜ヶ丘高校
 - ⑩ 中芸高校
 - ⑪ 室戸高校

(6) 当面する諸問題（協議・情報交換）

◆質問

「どのように友達づきあいが下手なのか。そして、学校の対処法としてどのようなことを実践しているのか。」

- ・ 今の子たちはスマホなど情報量が多く、SNSなどで多くの人たちとつながっている。それゆえに、嫌なことから目を背け他へ逃げることができる。一つ一つの言葉の重みや重要性を考えるとなく使ってしまう。もっと、自分を振り返る一人になる時間を作ると同時に、相手を思いやる気持ちを育てたい。
- ・ 4月の最初の段階で人とのつながりを持たせるようにしている。各学年間のオリエンテーションを通して相手の立場になって考えることを投げかけている。毎日の関わりの中で、心を育む声掛けをしている。気になる生徒には、個別対応をしている。
- ・ 男子生徒のコミュニケーションの下手さは、受け側にも問題がある。感受性が高すぎる。やる方も悪いという意識が低い。
- ・ 女子生徒はグループをつくるので、グループ間でのトラブルやメンバーの行き来によるトラブルがある。子どもだけでなく親も敏感になっていて根が深くなりやすい。
“いかんよ！”で分かることが理解できず、言葉のキャッチボールができない。
- ・ 特性のため、悪気があつてやいじめということではなくトラブルが発生することがある。中学校では、取り出しで指導されていた生徒も多く、場面の背景が読めなかったり、言葉のキャッチボールができていないものもいるので、支援体制をとっている。入学式前には、保護者との面談、入学後には仲間づくり活動などを取り入れている。
- ・ 入学当初の宿泊研修において「自分なら」「こんなトラブルになれば」と考える時間を設けている。「独りぼっちをつくらない」「相手の気持ちを考えて行動する」など、心を育む教育活動を行っている。

(7) その他（特になし）

5. 閉会行事 運営委員長あいさつ（室戸高校PTA会長 寺内眞也）